

「地域を知る学習」で小学生が見学

綾部市立豊里小学校の4年生は、地域の学びとして「栗用水」※について学習しています。

9月4日、25名の児童が栗用水を家畜の飲用水として利用している当所に見学に訪れました。

当所での栗用水の利用方法について学んだ後、砂濾過施設や消毒のための塩素滴下装置を見学し、また、搾乳や哺乳等の牛舎作業を見学して、間近で見る大きな牛と興味津々で触れ合っていました。

今後も地域に愛される牧場として、小中学生の見学等を積極的に受け入れ、畜産への興味や理解を深めてもらいたいと思います。



砂濾過施設を見学



牛舎見学の様子

※栗用水：由良川から取水し、地域の農業を支える重要な水利施設。

畜産センター